

- ・咽頭結膜熱（プール熱）は、都全体として**警報レベル**が続いています。
- ・インフルエンザは、都の定点当たり報告数が10.11と**注意報レベル**が続いています。
- ・感染性胃腸炎は、例年冬の時期に集団感染が多数報告されており、注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、都の定点当たり報告数が増加しており、引き続き注意が必要です。
- ・新型コロナウイルス感染症は、都の定点当たり報告数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。

全数報告対象疾患

- （五類）カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件
・（90代女性）推定感染地は国内、感染経路は不明
- （五類）侵襲性肺炎球菌感染症 1件
・（80代男性）血清型は未実施、感染地は国内、感染経路は不明、肺炎球菌ワクチン接種歴は不明
- （五類）梅毒 1件
・（30代男性）病型は早期Ⅰ期、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触

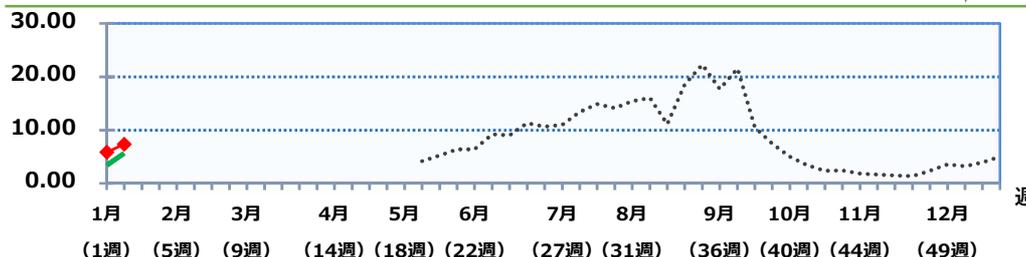
定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023 北区
—◆— 2024 北区
—■— 2024 東京都

新型コロナウイルス感染症

	前週 1/1~1/7	【最新】 1/8~1/14	傾向
北区	5.82	7.36	⇒
東京都	3.38	5.66	⇒



Topics

新型コロナウイルス感染症の罹患者数が増えています

新年が明け、気持ち新しく生活されている方が多いかと思えます。

さて、東京都全体では46週（令和5年11月中旬頃）以降、北区では47週（令和5年11月末頃）以降、緩やかながら新型コロナウイルス感染症の罹患者（感染症にかかる人）が増えています。また、北区では51週（令和5年12月末頃）時点で4週連続の増加を見せており、周辺では千代田区、文京区、豊島区で更に増加傾向にあります。感染症の流行地域は隣へ、またその隣へと移っていきますので、北区でも更なる罹患者の増加が見込まれます。

そこで、今回は改めて新型コロナウイルス感染症の【感染対策】【免疫力を高めるために】についてご紹介します。

【感染対策】

1. **手洗い・消毒**：正しい手順を今一度確認してみましょう。
外出先から帰った際は特に念入りに。
 2. **換気**：ウイルスをその場に留めないようにしましょう。
 3. 必要時の**マスク着用**：人にうつさない、もらわないようにしましょう。
- ※症状があるときは出勤/登校を控え、人混みに行くことは避けましょう。

【免疫力を高めるために】

1. 適度な**運動**をする
2. 十分な**睡眠**をとる
3. バランスのよい**食事**をとる
4. **ストレス**をためすぎない
5. **ワクチン**を接種する

しばらくはウイルスにとって好条件である乾燥した時期が続くとともに、今月は新年会シーズンでもあります。新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行していますが、**ウイルス自体が変化したわけではありません**。感染を引き起こさないように対策する、また感染してしまった場合でも重症化しないようにワクチンを接種する、生活を見直し、日ごろから免疫力アップに努める等、各自できることから始めてみましょう。

定点把握対象疾患

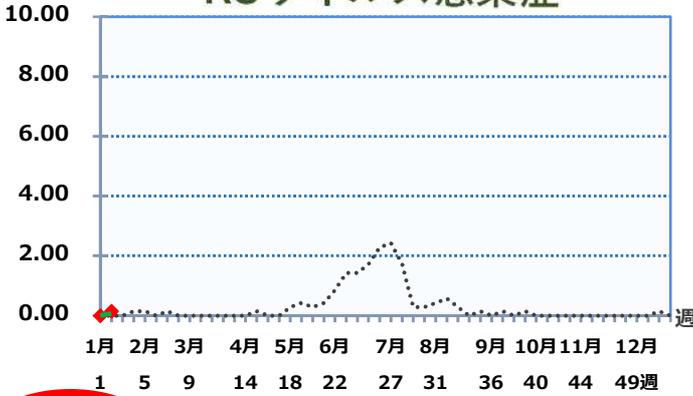
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023 北区
 ◆ 2024 北区
 ◆ 2024 東京都

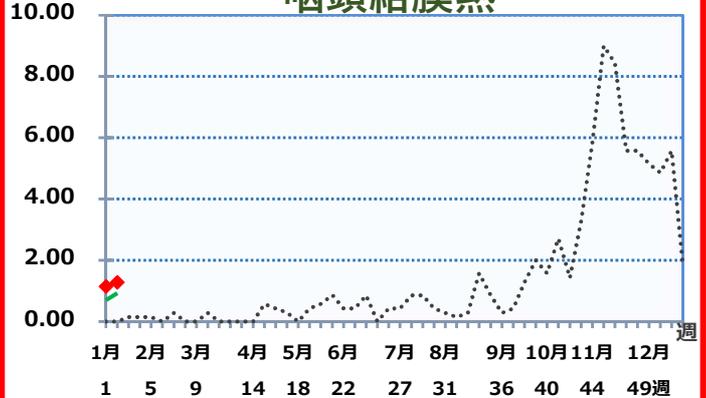
警報

警報レベルが続いており、注意が必要です。

RSウイルス感染症

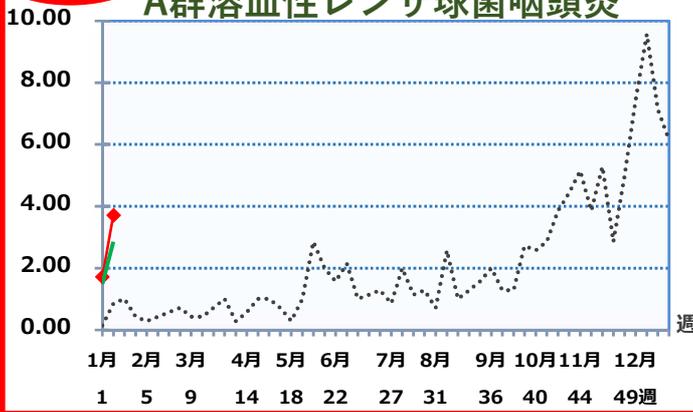


咽頭結膜熱

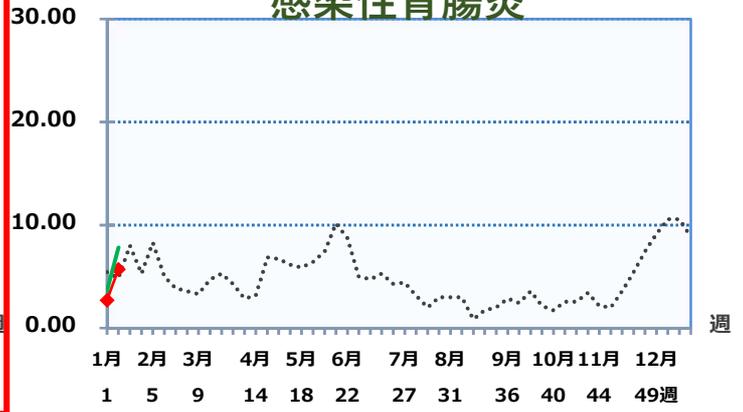


注意

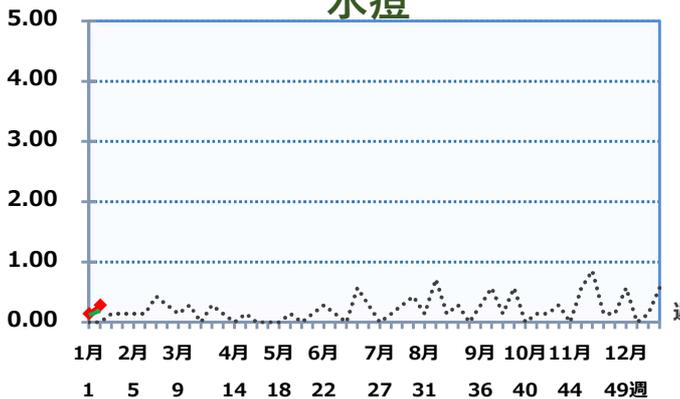
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



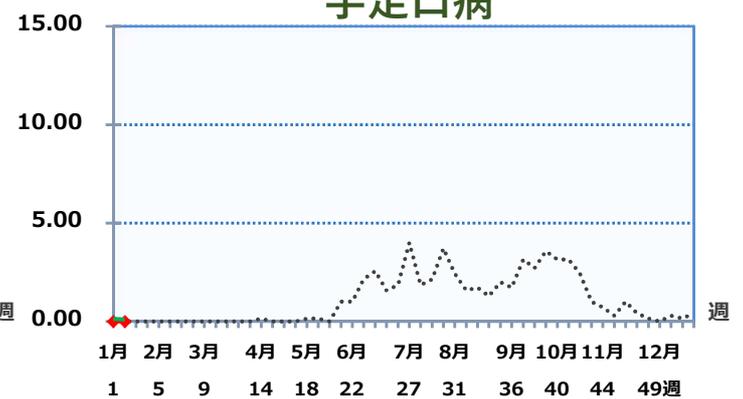
感染性胃腸炎



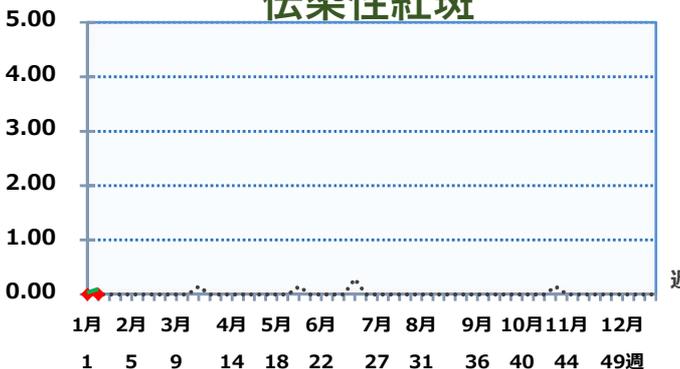
水痘



手足口病



伝染性紅斑



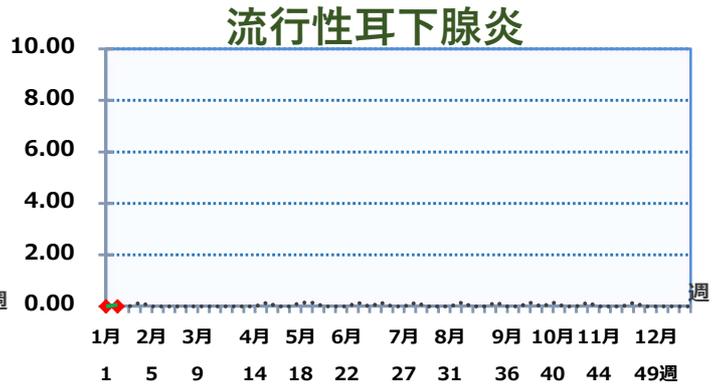
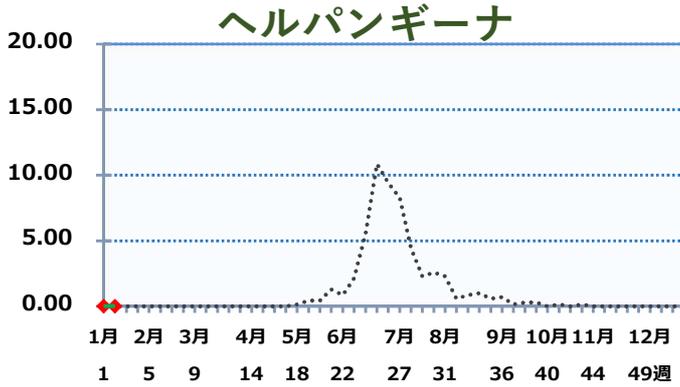
突発性発しん



定点把握対象疾患

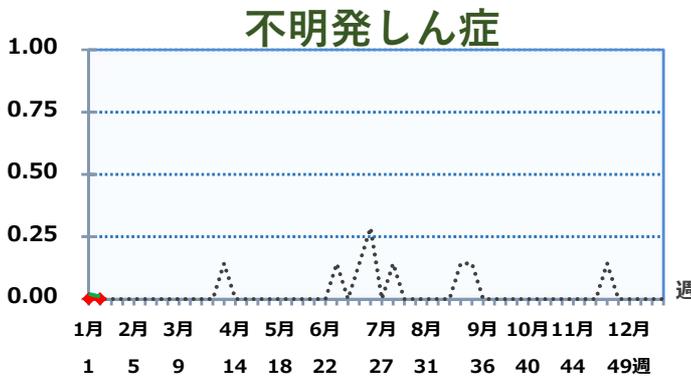
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023 北区
◆ 2024 北区
— 2024 東京都



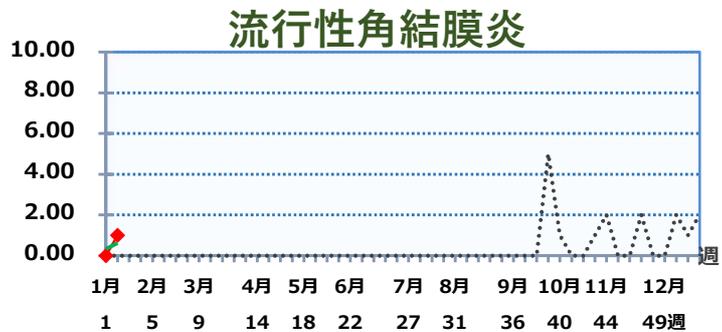
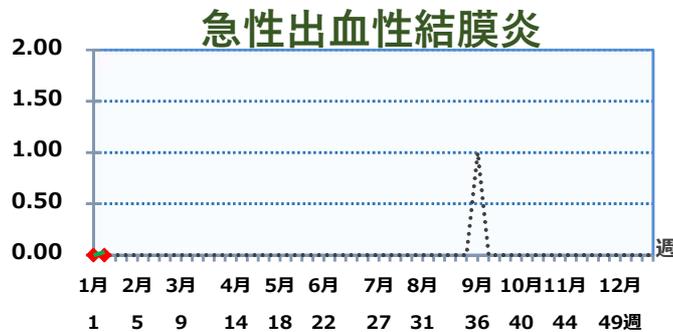
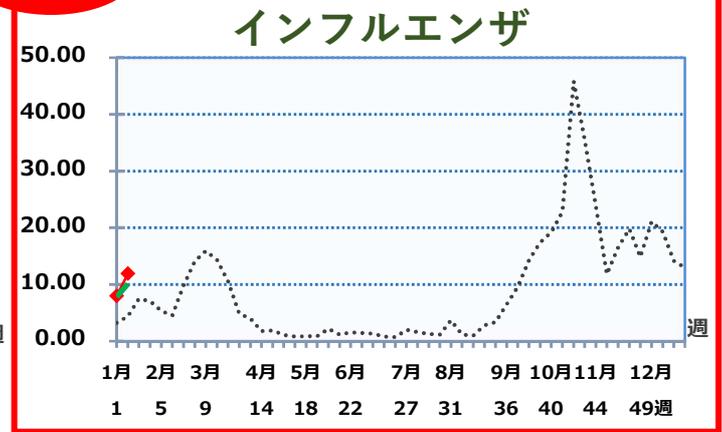
川崎病

北区 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.00
 東京都 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.01



注意

注意報レベルが続いており、注意が必要です。



性感染症 (2023年12月分まで) ※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2024年1月分は2024年第6週号にて掲載予定です。

